

取扱説明書

電動クレーン DC12V

品番：#32310000 型式：HP1000

1. 取付、及び使用方法

※取付は最大吊り上げ荷重（500kg）に十分耐える強度があり、平らな場所に設置してください。

※本商品は防水仕様ではありません。雨等の影響を受ける場所には設置、及び使用しないでください。故障の原因になります。

●車輻への設置

- ①図1を参考に、車輻の平らな場所に穴を4箇所開けてください。
- ②開けた穴とベースの穴を合わせて、ボルトを通し、平ワッシャ、スプリングワッシャ、ナット等で確実に車輻と固定してください。
- ③締め付け後に、クレーンのベースが水平になっている事、確実に固定されている事を確認してください。

●地面への設置

- ①ベースを地面に設置する場合は、開きボルト等を使用してください。
- ②締め付け後に、クレーンのベースが水平になっている事、確実に固定されている事を確認してください。

●配線方法

- ①コネクタや配線、ブレーカー等を車両等の水が掛からない場所に固定してください。
- ②コネクタ側の赤色ケーブル（ブレーカー付）をバッテリーの『+』端子、黒色ケーブルを『-』端子に接続してください。
- ③リモコンの赤色ケーブルをウィンチモーターの『+』端子（赤色）、黒色ケーブルを『-』端子に繋げて、ナットを時計回転方向に回して確実に締め込んでください。
- ④リモコン側のコネクタを①で固定したコネクタとそれぞれ接続してください。
- ⑤ケーブル接続部には必ず、**絶縁処理**を施してください。

●長さ、角度、リモコンの操作方法

- ①荷物の重量や、大きさ等に応じて、ブーム（アーム）の長さ、角度を調節してください。本商品の最大吊り上げ荷重は**500kg**です。
- ②本商品の使用荷重は、ブーム（アーム）の長さ、角度によって異なります。ブームの長さ、角度調整後は、図3に記載している最大使用荷重を参考にして使用してください。
- ③サポートトラックのセーフティーピンを取り外し、ピンを引き抜いてください。必要な角度までアームを持ち上げ、アームの穴と支柱の3箇所の何れかの穴に合わせ、ピン、セーフティーピンを確実に取り付けてください。
- ④ウィンチモーター側面のドラグダイヤルをウィンチモーターから引き出したまま、1/4回転した状態で、ワイヤーをウィンチモーターから引き出し、ブームを伸ばす長さに調整してください。調整後、ドラグダイヤルを元の位置に戻してください。
- ⑤アームのセーフティーピンを取り外し、ピンを引き抜いてください。使用用途に合わせた長さまでブームを伸ばし、ブームの穴とアームの3箇所の何れかの穴に合わせ、ピン、セーフティーピンを確実に取り付けてください。
- ⑥ハンドルを反時計回転方向に回して緩め、アームを左右に動かして、位置調節をしてください。位置調節後はハンドルを時計回転方向に回して、アーム（サポートトラック）が使用中に回転しない様に、確実に締め込んでください。
- ⑦フックを吊り上げる物に合わせて引き出し、引っ掛けてください。
- ⑧リモコンの『↑』ボタンを押すと吊り上げる事が出来ます。吊り上げた後に、ハンドルを反時計回転方向に緩め、支柱を左右に動かして位置調節をしてください。位置調節後は、ハンドルを時計回転方向に回して、ブームが使用時に回転しない様に、確実に締め込み、リモコンの『↓』を押して、ゆっくりと降ろしてください。

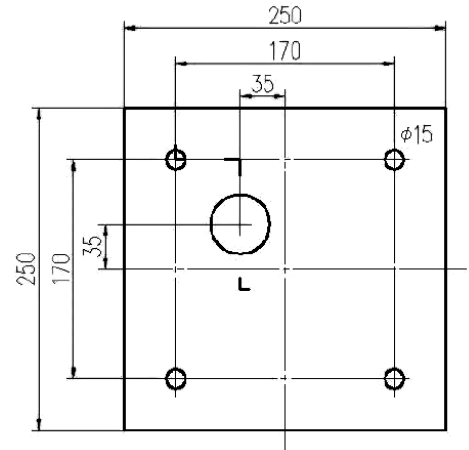


図1

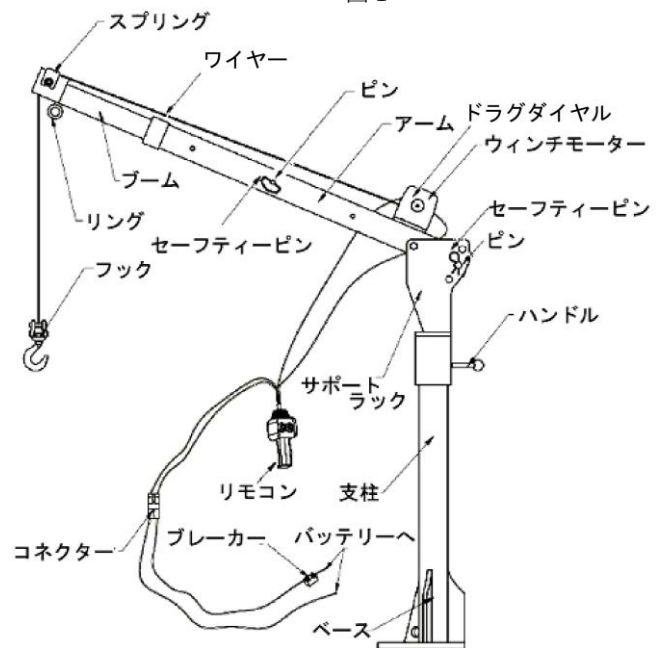


図2

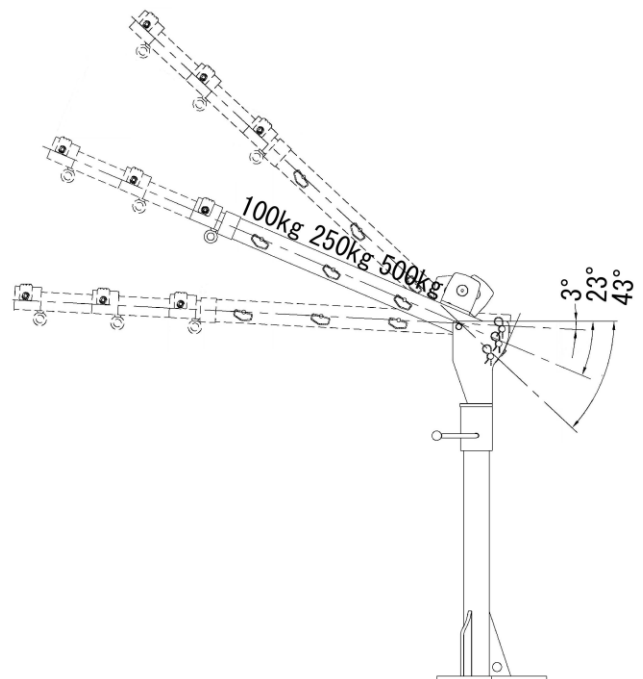


図3

2, 注意事項

△危険 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う事になるもの。)

- ①本商品を使用して、**人を吊り上げない**でください。
- ②**ワイヤーの延長、コードの延長、溶接、改造等は絶対にしない**でください。
- ③クレーン操作時は、荷物の下や付近に人がいない事を十分確かめてから使用してください。
- ④ワイヤーをウィンチモーターから引き出す場合は、**最低5巻(赤色の目印有り)**はウィンチモーターのドラムに残してください。

△警告 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う可能性のあるもの。)

- ①本商品の**最大吊り上げ荷重は500kg**です。それ以上の負荷を掛けしないでください。
- ②ワイヤーケーブルを交換する時は、能力の低いワイヤーに交換しないでください。
- ③本機作業中にワイヤーケーブルや、ウィンチモーターに手を触れないでください。
- ④本機の最大吊り上げ荷重は、ブームの長さや角度により異なります。図3を参考に作業してください。

△注意 (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)

- ①可動部に髪の毛や、衣服、ジュエリー等が絡まらない様に、十分注意して使用してください。
- ②保護ゴーグル、ヘルメット等を着用して、作業に適した服装で作業してください。
- ③車輻に穴開け加工を施す時は、**燃料経路、電気経路、燃料タンク、ブレーキワイヤー等が無い**事を十分確認してください。
- ④配線を鋭利な物に当たったり、重量物で挟まないでください。又、配線が作動中に絡まらない様に注意してください。
- ⑤お酒、薬物等の影響を受けている時は操作しないでください。
- ⑥ワイヤーに触れる時は皮製の厚手の手袋を着用してください。
- ⑦使用前に各部分を確認して、本機、及びワイヤーに不良箇所が見受けられる場合は、直ちに使用を中止してください。
- ⑧本機の**電源電圧はDC12V**です。それ以外の電圧を掛けて使用しないでください。
- ⑨**ウィンチモーターが熱くなった場合は、手で触れる事が出来る程度まで自然冷却して、冷めるまで再使用しない**でください。
- ⑩故障等での本機の取り外し、再取り付け費用は、お客様のご負担になります。ご了承ください。
- ⑪本機の車輻等への設置は、必ずボルト等を使用してください。溶接での取り付けは絶対にしないでください。
- ⑫車輻のエンジンを停止させたまま使用すると、バッテリー消耗の原因になります。エンジンを掛けた状態で使用してください。
- ⑬急なスイッチの切り換え、操作はしないでください。
- ⑭本機操作中は、絶対に持ち場を離れないでください。
- ⑮作業中は安全な距離を保って、巻き上げ状態を確認してください。
- ⑯約50cm巻き取る毎に、本機の作動を停止させて、ドラムの片側にワイヤーが偏っていないかを確認してください。ワイヤーケーブルが偏った状態で巻き上げ作業を続けると、ウィンチ破損の原因になります。
- ⑰本機を車輻に設置して使用する時は、必ず車輪止めをしてください。
- ⑱本機には、ブレーカー(過電流保護装置)が付いています。その為、重量超過で作動させると停止します。重量を減らして使用してください。また、ブレーカー(過電流保護装置)を取り外さないでください。本機故障の原因になります。
- ⑲使用しない時は、本機を折りたたんで保管してください。
- ⑳各部の取付ボルト、ナットの締結を定期的に確認してください。

3, 部品分解図

1	ベアリング
2	ベアリング
3	支柱
4	サポートトラック
5	ハンドル
6	アーム
7	セーフティーピン
8	ピン
9	ピン
10	ブーム
11	ピン
12	ウィンチモーター
13	ナット、平ワッシャ、スプリングワッシャ
14	スプリング
15	滑車
16	シャフト
17	リング
18	ワイヤー 4.8mm×4.5m
19	フック
20	コネクター
21	リモコン
22	バッテリーケーブル赤
23	ブレーカー

